



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日  
上場取引所 東

上場会社名 稲畑産業株式会社  
コード番号 8098 URL <https://www.inabata.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲畑 勝太郎  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経営管理室長 (氏名) 久保井 伸和 TEL 03-3639-6421  
四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	458,573	△6.0	10,435	△7.5	11,587	1.2	9,113	△19.6
2019年3月期第3四半期	488,080	4.9	11,284	87.5	11,444	72.6	11,331	48.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 393百万円 (△98.9%) 2019年3月期第3四半期 34,853百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	150.64	—
2019年3月期第3四半期	185.47	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	347,910	161,886	46.0
2019年3月期	366,514	164,697	44.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 160,049百万円 2019年3月期 162,973百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	28.00	48.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	33.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	670,000	5.6	14,500	3.3	14,500	1.3	11,000	△14.7	181.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	63,499,227株	2019年3月期	63,499,227株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,002,565株	2019年3月期	3,002,502株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	60,496,716株	2019年3月期3Q	61,096,802株

(注) 当社は、前第2四半期連結会計期間より「株式給付信託（BBT）」を導入しております。当該信託が保有する当社株式は「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」の計算において控除する自己株式数に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中間の通商問題を巡る動向の影響が懸念されるなか、米国では、景気回復が続きました。欧州では、ユーロ圏において景気は弱い回復となりました。アジアでは、中国において製造業を中心に弱さがみられ景気の減速が続いたほか、タイやインドなどの新興国においても、弱い動きがみられました。

一方、日本経済は企業の生産や輸出に弱さがみられましたが、個人消費の持ち直しもあり、景気は緩やかに回復しました。

こうした中、当社グループの連結ベースでの売上高は、458,573百万円（対前年同期比6.0%減）となりました。利益面では、営業利益10,435百万円（同7.5%減）、経常利益11,587百万円（同1.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益9,113百万円（同19.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前第3四半期連結累計期間比較については、前第3四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## 《情報電子事業》

情報電子事業は、OA関連の低調や為替の影響もあり、売上が微減となりました。

液晶関連では、偏光板の販売が中国において伸長しました。偏光板原料の販売は横ばいでした。

インクジェットプリンター関連では、コンシューマー分野での部品販売が低調に推移し、産業用分野では海外での新規材料販売が好調でしたが、全体として販売が減少しました。

複写機関連では、国内主要顧客向けの材料販売が減少し、全体として低調でした。

太陽電池関連は、大型システム案件の納入がありました。またパネル材料の販売が伸長しました。二次電池関連では、材料の販売が伸長しました。

半導体関連では、材料の販売が横ばいでしたが、装置の販売は減少しました。

電子部品関連では、材料の販売が減少しました。

これらの結果、売上高は164,560百万円（同1.5%減）となり、セグメント利益（営業利益）は3,505百万円（同10.4%減）となりました。

## 《化学品事業》

化学品事業は、総じて販売が低調に推移し、売上が減少しました。

樹脂原料・添加剤の販売は中国の環境規制の影響もあり低調でした。

自動車部品業界向け原料の販売は、東南アジアを中心に堅調でした。

塗料・インキ・接着剤分野向け原料販売は、海外が低調でしたが国内が伸び、全体として好調でした。

製紙業界向け薬剤の販売は、減少しました。

建築資材関連は、住宅着工の減少もあり低調でした。

これらの結果、売上高は55,957百万円（同4.9%減）となり、セグメント利益（営業利益）は988百万円（同20.6%減）となりました。

## 《生活産業事業》

生活産業事業は、ライフサイエンス関連は堅調でしたが、食品関連が低調で、売上が減少しました。

ライフサイエンス関連では、国内の抗生物質原料の販売が減少しましたが、海外向け医薬品関連の販売は堅調でした。中国では環境規制の影響もあり医薬原料の販売が低調でした。

ホームプロダクツ分野は、殺虫剤関連の販売が減少しました。

食品関連では、輸入水産加工品の販売が低調でした。米国ではエビ商品の販売が減少しました。国内では魚のスライス加工品の販売が伸長しました。農産品では、冷凍ブルーベリーの販売は低調でしたが、北海道余市町の自社ブルーベリー農場では、初収穫を行いました。

これらの結果、売上高は27,448百万円（同6.3%減）となり、セグメント利益（営業利益）は898百万円（同1.3%増）となりました。

《合成樹脂事業》

合成樹脂事業は、自動車関連は堅調でしたが、価格下落の影響が大きく売上が減少しました。

汎用樹脂関連では、価格下落の影響もあり全体として販売が低調でした。

高機能樹脂関連では、自動車向けの樹脂の販売は単価下落の影響があったものの、国内外で日系向けの販売が堅調でした。アジアでは、OAや電機関連向けの販売が低調でした。

コンパウンド事業では、メキシコ拠点において販売が増加しましたが、利益面で苦戦しました。

フィルム関連では、飲料用や食品用の包材の販売が減少しました。

シート関連では、中国向け工業部材用原料の販売が減少しました。

スポーツ資材関連では、グリップテープの販売が横ばいでした。

これらの結果、売上高は210,476百万円(同9.5%減)となり、セグメント利益(営業利益)は4,940百万円(同3.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて18,603百万円減少(対前期末比5.1%減)し、347,910百万円となりました。

流動資産の減少6,752百万円は、主に現金及び預金、商品及び製品並びに原材料及び貯蔵品が減少したこと等によるものであります。

固定資産の減少11,850百万円は、主に有形固定資産及び投資その他の資産のその他が増加したものの、投資有価証券が時価の下落に伴い減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて15,793百万円減少(同7.8%減)し、186,023百万円となりました。

流動負債の減少10,581百万円は、主に支払手形及び買掛金、短期借入金並びに未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

固定負債の減少5,211百万円は、主に長期借入金及びその他が減少したこと等によるものであります。その他の内容は主に繰延税金負債であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて2,810百万円減少(同1.7%減)し、161,886百万円となりました。これは、主に利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.0%(前連結会計年度末より1.5ポイント増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月9日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	26,909	23,300
受取手形及び売掛金	163,963	164,372
商品及び製品	52,842	50,450
仕掛品	735	709
原材料及び貯蔵品	3,906	3,221
その他	9,087	8,313
貸倒引当金	△877	△552
流動資産合計	256,567	249,814
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	13,473	14,044
無形固定資産	3,223	3,240
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	86,393	73,381
退職給付に係る資産	2,893	2,973
その他	11,632	12,045
貸倒引当金	△7,669	△7,588
投資その他の資産合計	93,250	80,811
固定資産合計	109,947	98,096
資産合計	366,514	347,910
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	109,778	105,849
短期借入金	43,619	38,278
未払法人税等	2,271	926
賞与引当金	1,245	673
事業整理損失引当金	—	235
その他	7,704	8,074
流動負債合計	164,618	154,037
<b>固定負債</b>		
長期借入金	13,658	11,578
役員退職慰労引当金	30	29
役員株式給付引当金	37	73
債務保証損失引当金	18	18
退職給付に係る負債	1,794	2,015
その他	21,658	18,270
固定負債合計	37,198	31,986
負債合計	201,817	186,023
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	9,364	9,364
資本剰余金	7,752	7,752
利益剰余金	97,882	103,895
自己株式	△3,729	△3,729
株主資本合計	111,269	117,283
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	48,827	39,761
繰延ヘッジ損益	△93	39
為替換算調整勘定	3,247	3,083
退職給付に係る調整累計額	△277	△118
その他の包括利益累計額合計	51,703	42,766
非支配株主持分	1,723	1,837
純資産合計	164,697	161,886
負債純資産合計	366,514	347,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	488,080	458,573
売上原価	452,054	423,242
売上総利益	36,025	35,330
販売費及び一般管理費	24,740	24,895
営業利益	11,284	10,435
営業外収益		
受取利息	168	134
受取配当金	1,348	1,601
持分法による投資利益	157	263
雑収入	661	556
営業外収益合計	2,334	2,555
営業外費用		
支払利息	1,432	1,050
為替差損	350	87
雑損失	392	266
営業外費用合計	2,175	1,403
経常利益	11,444	11,587
特別利益		
投資有価証券売却益	5,098	1,793
特別利益合計	5,098	1,793
特別損失		
事業整理損失引当金繰入額	—	233
減損損失	293	—
特別損失合計	293	233
税金等調整前四半期純利益	16,249	13,147
法人税、住民税及び事業税	4,381	3,424
法人税等調整額	242	264
法人税等合計	4,623	3,689
四半期純利益	11,626	9,457
非支配株主に帰属する四半期純利益	294	344
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,331	9,113

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	11,626	9,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,212	△9,187
繰延ヘッジ損益	△182	132
為替換算調整勘定	195	△190
退職給付に係る調整額	52	158
持分法適用会社に対する持分相当額	△50	23
その他の包括利益合計	23,227	△9,064
四半期包括利益	34,853	393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,513	43
非支配株主に係る四半期包括利益	340	350



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、前第2四半期連結会計期間より、当社取締役(社外取締役を除く)の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットだけでなく、株価下落リスクも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、取締役に対する業績連動型株式報酬制度として「株式給付信託(BBT)」を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前第3四半期連結会計期間末164百万円、100,000株、当第3四半期連結会計期間末164百万円、100,000株であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	167,148	58,870	29,289	232,641	487,950	129	488,080	-	488,080
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	167,148	58,870	29,289	232,641	487,950	129	488,080	-	488,080
セグメント利益	3,911	1,244	887	5,140	11,183	101	11,284	-	11,284

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	164,560	55,957	27,448	210,476	458,441	131	458,573	-	458,573
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	164,560	55,957	27,448	210,476	458,441	131	458,573	-	458,573
セグメント利益	3,505	988	898	4,940	10,333	102	10,435	-	10,435

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、共通する商材の販売の効率化などを進め、収益力の向上を図るため、組織変更を行いました。これに伴い、管理区分の見直しを行い、「住環境事業」を「化学品事業」に統合いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。